



TOGAKU PRESS

TOGAKU 生の活躍を
応援するマガジン

T O G A K U の 学 び

時代に合わせて進化する

時代の変化に順応しつつ
“学生ファースト”で
より学びやすい環境へ！

初のオンライン開催が実現！

**第28回 東洋学園大学
フェニックス祭 ～郷郷祭り～**

明るく使いやすくりニューアル！

本郷キャンパス 4・5号館エントランス

自彊不息でいこう

“ダンススポーツで日本一に！”

大西咲菜さん(英語コミュニケーション学科2年)

詳しくはP.12へ



FEATURED STORY

時代に合わせて進化する TOGAKUの学び

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、大きな変革期にある大学教育。
本学では、これを進化のチャンスと前向きに捉え、さまざまな改革を行っています。

今年度より新設した「次世代教育推進室」を中心に
学生にとってより有意義な学びの形を考え、今後も積極的に導入していきます。

※本記事は2021年4月に取材した内容を基に構成しています。



時代に即した質の高い教育を提供するため 今期から「次世代教育推進室」を新設

コロナ禍におけるオンライン授業導入などをきっかけに、今、日本の大学教育は変革の時を迎えています。本学では、今年度より「次世代教育推進室」を新設し、時代に即した教育のプラットフォームづくりを推進。その室長を務める泰松範行教授に、今後の展望などを伺いました。「今年の春学期から対面授業を増やしており、今後は『対面とオンラインをどのように組み合わせるか』が大きな課題となり

ます。より質の高い授業を提供するためには、科目の特性に合わせて対面とオンラインを使い分けることが大切。対面では『学校に来るからこそできる授業』を、オンラインでは『オンラインならではのメリットを活かした授業』を、さらに突き詰めていくべきとも考えています」

意外なことに、実践してこそ上達すると考えがちなスポーツの授業も、オンラインを使った自宅トレーニングを組み合わせ

せたほうが効果を上げられる、という研究があるそう。その事例のように、対面・オンラインそれぞれのメリットを見極め、うまく組み合わせることが、授業の質を高めることにつながると話します。

「くり返し視聴によって、復習にも役立つオンデマンド（録画配信型）授業のクオリティも高めていきたい」と泰松教授。学生が能動的に学べる環境を整えるべく、さらなる模索と進化を続けていきます。



対面授業・オンライン授業 それぞれの現状とこれから



今年の春学期より、対面授業とオンライン授業の併用が本格的にスタート。

次世代教育推進室の室長を務める泰松教授に対面・オンラインそれぞれの価値や、今後の学びの可能性について伺いました。

FACE TO FACE

対面の利点はコミュニケーションを深められること！ 人間関係の構築が必要な1年生は平均週4日登校に



「対面授業の最大のメリットは、クラスメートや教員とのコミュニケーションを深められること」と泰松教授。本学では、この春学期から全学全授業の60%を対面授業とし、特に人間関係の構築が必要な1年生は平均週4日登校に。マスク着用、ソーシャルディスタンスの確保などの感染対策を行ったうえで、担任制のホームルームクラス、少人数制の授業、実践型

の授業などを中心に対面授業を行っています。

「普段は対面の形を取っている授業でも、内容に応じてオンライン授業の回があってもよいと思っています。たとえば、個々にリサーチ作業などを行う場合は、教室に集まる必要はないからオンラインにする、といったように。ある程度フレキシブルに対応してい



けたらと考えています」と泰松教授は話しています。

ONLINE

オンラインでもここまでできる！ 大規模なプレゼン発表会や模擬就活も実現



「昨年度のオンライン授業を踏まえて、『オンラインでもここまでできる』ということが見えてきました」と泰松教授。特に、初のオンライン開催となった1年生の**プレゼンTOGAKU**①や、4年生の**卒業論文発表会**②、3年生の模擬就活の授業(前号参照)などの成功は、大きな収穫になったと話します。

こうした大規模な授業は、例年、会場に集まって行われていましたが、昨年度は個々が自宅などからオンライン参加。学生たちは、日頃のオンライン授業を通じてリモート作業に慣れており、オンラインでも問題なく実施できることがわかりました。また、実社会でも「オンラインプレゼン」や「オンライン選考」などが活発化

する中で、時代に即した学びを提供できたことにも価値がありました。

遠方の講師や海外の学生とリモートでつながるなど、「オンラインだからこそできる授業」にも積極的に取り組んでいる本学。教員からも意見やアイデアが寄せられており、オンライン授業の可能性は今後さらに広がっていきそうです。

PICK UP!

① プレゼンTOGAKU



1年生のクラス代表者が、学部ごとの全体会でプレゼンテーションを披露するプレゼンTOGAKU。昨年度は各学部とも初めてオンラインで実施しました。

グローバル・コミュニケーション学部と人間科学部は、YouTubeでのライブ配信(限定公開)に挑戦。世界に開かれたYouTubeを活用するという、アフターコロナにもつながる

試みとなりました。

一方、実践的なビジネスプレゼンに重きを置く現代経営学部は、例年同様、スライドを使った発表会形式を採用。その様子を「やり直しなしの一発撮り」で録画し、Microsoft Streamで配信しました。



② 卒業論文発表会

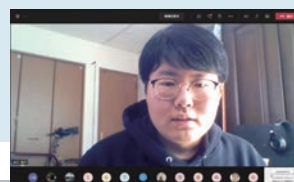


大学での学びの集大成として行われる4年生の卒業論文発表会も、昨年度は初のオンライン開催となりました。

発表会は学部ごとに実施され、グローバル・コミュニケーション学部10名、人間科学部10名、現代経営学部はゼミ教員の推薦を受けた4名の代表者がプレゼンテーションを披露。その様子をMicrosoft

Teamsでライブ配信し、各学部の学生たちが視聴しました。

発表者たちは、自作のスライドを画面上に表示しながら、視聴者に熱く語りかける見事なプレゼンを見せてくれました。





はじまっています！ TOGAKUの

今、求められる学びの形を模索・導入

① 感染対策に配慮した対面授業



② オンデマンド授業



③ 同時双方向授業



最新情報は
Webで！

新しい学びのスタイルを取り入れながら コロナ禍でも学生の安全と学びやすさを確保

本学では、学生の安全と学びやすさを第一に考えた授業を行っています。**対面授業** (①) では、マスク着用などの感染対策の徹底はもちろん、グループワーク時は机に仕切り板を設置し、安心してディスカッションができるよう配慮。また、プレゼンテーション時は発表者の前に仕切り板を設置し、マイクに使い捨てカバーを装着するなどの対策も実施しています。

オンライン授業では、**オンデマンド授業**

(②) のクオリティを高めるため、学内に「オンライン配信室」を新設。複数のカメラやマイク、電子黒板などの本格機器を設置し、臨場感あふれる収録を可能にしました。学生が学びやすいよう、動画1本の時間を短くしてチャプターに分けるなど、教員たちも収録に工夫を凝らしています。

「オンライン配信室」はライブ配信にも対応しており、この配信室から**同時双方向授業** (③) を行う科目も。教員は手元の

スイッチ一つで画面の切り替えができ、たとえば、学生たちの顔を映しながらディスカッションを行ったあと、電子黒板を表示して解説する、といった流れもスムーズ。対面と遜色のない授業が実現しています。

その他、「ハイフレックス授業(対面・ライブ配信の併用)」や「トライブリッド授業(対面・ライブ配信・中継の併用)」を試験的に実施するなど、学びの可能性を広げるためのさまざまな施策を行っています。

新しい取り組み

変わりゆく学びの形に合わせて、
授業形式や学内環境をアップデートしている本学。
学生一人ひとりの学びやすさに配慮した、
新しい取り組みの一部をご紹介します。

新しい学びに向けた環境づくりを推進

① メディアセンター自習室



ノートPCの貸し出しも！



② 図書館



③ オンライン授業用受講室



④ 4・5号館エントランス



オンライン授業の受講や自習に適した 新設備&スペースが学内のあちこちに！

今春より本格始動した対面授業とオンライン授業の併用に合わせ、学内環境も刷新。学内でオンライン授業（発話を伴わないもの）を受けたり、自習がしやすいように、設備や場所の整備を行いました。

たとえば、**メディアセンター自習室**①には、Windows10搭載の最新デスクトップPCとヘッドフォンを完備し、発話を伴わないオンライン授業の受講にも対応。また、ノートPCの貸し出し（学内利用

限定）も行っています。

さらに、**図書館**②でもノートPCの貸し出し（図書館内での利用限定）を行っており、こうしたPCの貸し出しを利用すれば、自宅からノートPCを持って来なくてもキャンパス内でオンライン授業の受講が可能に。「対面授業とオンライン授業が同じ日の時間割にある」といったときにも便利です。

ほかにも、**オンライン授業用の受講室**

③として教室を開放したり、リニューアルした**4・5号館エントランス**④※詳細はP.10参照）にも自習スペースを確保。学内全体のWi-Fi環境も整っており、屋上を含むさまざまな場所で快適にオンライン学習を行うことができます。

なお、学生へのOffice 365 for Educationの無償提供や、時間割の管理などができる学生ポータルサイト「TG-Navi」の運用も、引き続き行っています。

学生たちの奮闘で
初のオンライン学園祭が実現！

詳しくはこちら



第28回 東洋学園大学

フェニックス祭～郷郷祭り～

運営局みんなで
がんばりました！

未来へ羽ばたけ築く新時代！～皆で今を乗り越えよう～

第28回目となる東洋学園大学の学園祭「フェニックス祭～郷郷祭り～」。コロナ禍でも「なんとか開催したい！」という学園祭運営局の熱意が結実し、オンライン配信という形で2020年12月20日（日）に実現しました。



総視聴回数 10,079回 (最大同時視聴者数 1,118名) を記録！
大盛況となった本学史上初のオンライン学園祭

例年10月に開催してきた「フェニックス祭～郷郷祭り～」。コロナ禍の2020年は、思うように準備を進められず、中止にするという選択肢もありました。しかし、「コロナで暗い気持ちになりがちな今だからこそ、どんな形でもいいから開催しよう！」と学園祭運営局の学生たちが決起。初となるオンライン開催に向けて、秋学期から本格始動しました。

前例がない中、教職員や外部の方々に

もアドバイスを求めながら、手探りで準備を進めてきた運営スタッフたち。結果的に、ライブ配信×録画映像を組み合わせたクオリティの高いオンライン学園祭を実現させ、総視聴回数は1万回を超える盛況ぶりに。「未来へ羽ばたけ築く新時代」のスローガンのとおり、新しい学園祭のスタイルを確立し、「オンラインでも開催できる」という実績を残したことは、後輩たちの大きな励みにもなったはずです。



PRのために
新聞製作も！

コロナ禍で変化する世の中に合わせて、自分たちも変わらなければいけない。また、東洋学園大学の歴史の中で初となるオンライン学園祭を僕らがつくりあげ、前例になりたいという気持ちもあり、開催に踏み切りました！



学園祭運営局 局長
原一誓さん
(現代経営学部3年※2020年当時)

学園祭運営局・各班の奮闘

5つの班に分かれ、役割を分担している学園祭運営局。
前例のないオンライン開催となった今回は、各班とも準備が大変だった様子。
そんな舞台裏取材しました。

MC班／屋台班

自分たちでカメラを回して映像作品づくりに挑戦!

MC班と屋台班は、事前に映像作品を制作し、その映像を当日にオンライン配信。どちらの作品も、テレビ番組のようなクオリティで大好評でした。

MC班が制作したのは、大学周辺のスポットを学生目線で紹介する「モヤモヤとお〜がく 〜大学周辺散歩〜」という作品。飲食店などの取材交渉から撮影まで、自分たちで行いました。

屋台班は、例年はお化け屋敷などの出し物を担当していますが、オンライン開催の今回は「男子改造計画」という映像作品を制作。チーム対抗のコーディネート対決をバラエティ風に仕上げました。

MC班は、クイズ対決企画「東学王」も開催。
こちらはリアルタイムで配信!



MC班の
映像作品



屋台班の
映像作品



有名人が
多数出演!

メディアPR班

例年は紙で配るパンフレットのデジタル化に初チャレンジ

例年、紙のパンフレットや新聞を作成し、フェニックス祭の広報活動を行ってきたメディアPR班。オンライン開催となった今回は、デジタルパンフレット制作に初挑戦。ウェブサイトも新規開設し、サイト上でパンフレットを公開しました。「PCやウェブについてわからないことが多くて大変でしたが、いい経験になりました」と班長の真田さん。



芸能班／企画班

豪華出演者をブッキングし ステージを盛り上げた!



芸能班は、芸能人への出演交渉と当日のケアを担当。今回はTOKYO FMの人気ラジオ番組「SCHOOL OF LOCK!」のさかた校長 (サンシャイン) とこもり教頭 (GENERATIONS from EXILE TRIBE) の特別出演が実現しました。また、「よしもと笑いライブ」には放課後ハートビートさんとジャングルポケットさん、「アイドルライブ」には26時のマスカレイドさんとBYMEさんの出演も。

企画班は、体育館のステージ設営を担当。「配信に向けて何が必要かなど、通常のステージ設営とは違うことが問われて大変でした」と班長の奈良さん。芸能班と企画班の尽力により、豪華な顔ぶれの充実したステージとなりました。

企画班の呼びかけで学生団体が出演 各団体の発表の機会にも!

企画班が学生団体に出演交渉を行い、ゴスペルクラブ「Heavenly Gospel Team」や軽音楽クラブ「Rhyme」、音楽サークル「Lover's」などがステージに出演。また、演劇サークル「劇団ハレツケ」は、録画作品で参加しました。コロナ禍で思うように活動できていなかった各団体の発表の機会にもなり、パフォーマンスをやりきって感極まる学生の姿も見られました。



TOGAKU NEWS

学生たちの活躍や、学校からのお知らせなど
キャンパスライフにまつわるニュースをお届け！



最新ニュースは
こちら

新学長就任

愛知太郎が新学長に就任

2021年4月1日付で、東洋学園理事長の愛知太郎が新学長に就任しました。本学園の評議員、理事、理事長を経て、現職に就任しました。任期は1年間です。愛知新学長は、東洋学園創立者である宇田尚の曾孫であり、また、文部大臣・外務大臣・大蔵大臣等を歴任し東洋学園第6代学長も務めた愛知揆一の孫にあたります。



グローバル・コミュニケーション学部

超難関の韓国語能力試験6級合格者も！ 2名の学生に学部長賞を授与



資格試験や大会等で優秀な成績を収めた学生に贈られる学部長賞。今回は、グローバル・コミュニケーション学科4年の高宮楓実さんと、英語コミュニケーション学科2年の大西咲菜さんに授与されました。

高宮さんは、韓国語能力試験(TOPIK)の最難関級である6級に合格する快挙を達成。大西さんは、ダンススポーツ国内最高峰の大会である「第40回三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権」において、ラテン部門(アマチュア)優勝、スタンダード部門(アマチュア)準優勝という優秀な成績を収め、世界選手権への出場権を獲得。学部長賞の受賞に至りました。

韓国語の
難関試験に合格！



社交ダンスの大会で
日本一に！



卒業式の様子

卒業式・入学式

感染対策を徹底し、卒業式・入学式を挙行



3/20(土)、2020年度の卒業式と、大学院の学位記授与式を挙行。卒業生らは、感染対策に気を配りながら仲間と記念撮影をしたり、教職員との別れを惜しんでいました。

4/2(金)には2021年度の入学式を挙行。学長や各学部長、在学生代表からは、新入生を温かく迎え、激励する言葉が贈られました。



入学式の様子

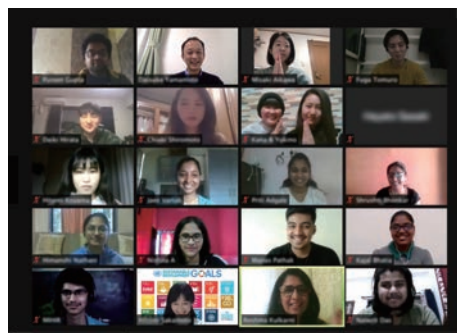


国際キャリアプログラム(ICP)

ICP 2・3年生が インドの学生とオンライン交流

インドで日本語を勉強しているインド人の多くが、将来は日本で働きたい、留学したいという夢を持っているそう。そこで、国際キャリアプログラム(ICP)3年生に、「インドで日本語を学ぶインド人に、なぜ日本で学ぶ/働くべきか?」についてプレゼンせよ!という課題が与えられました。「キャリア・デザイン」の授業の一環として行われた同プロジェクト。学生たちはチームで課題に取り組み、インド人学生に向けてオンラインでプレゼンテーションを披露しました。

また、ICP 2年生は、「キャリア・デザイン入門」の授業でインドの大学生とオンライン交流。「日本のファッション」をテーマに制作したショートムービーを発表しました。



2年生の授業



3年生の授業

人間を多角的に学ぶ グループワークを対面で実施



3/9(火)～11(木)、人間科学部の集中授業「人間科学総合講座」が対面で開講されました。ソーシャルディスタンスを確保してグループワークを行うために、学生たち自身が机の配置を工夫し、検温や消毒、マスク着用も徹底。授業では、「さるかに合戦」裁判(NHK『昔話法廷』より)をテーマにグループワークを行い、臨床心理学、犯罪学、発達心理学というさまざまな角度から「人」を分析・考察しました。ディスカッションや意見交換が活発に行われ、対面のよさを感じられる授業となったようです。

学生からは、「全体を通して難しい課題だったが、自分の中で意識が変わった」などの感想が聞かれました。



2021年度より、本学現代経営学部と 文京学院大学経営学部との単位互換協定を締結



同じ文京区の大学である本学と文京学院大学は、双方の更なる発展を目指し、学術交流を促進するとともに、教育の一層の充実を図り学生の幅広い視野を育成することを目的として、単位互換協定を締結。2021年度より、本学現代経営学部3年次秋学期科目「トップマネジメント特別講座」(八塩圭子教授)と、文京学院大学経営学部3年次後期科目「経営者論」(島田昌和教授)の2科目について、両大学の学生が特別聴講し、単位認定を行うことが可能となりました。



英語特別選抜クラス(ALPS)

ALPS 4年生のプレゼンイベントを開催



2/2(火)、英語特別選抜クラス(ALPS)の4年生による発表会“ALPS Presentation Event”をオンライン開催。学生たちが制作したプレゼンテーション動画をMicrosoft Teams上で公開し、動画に対する質疑応答や意見交換がリアルタイムで行われました。

また、ALPSで特に優れた成績を収めた4年生の表彰も。EEDC Special Award(英語教育センター長賞)は英語コミュニケーション学科の坂爪実那子さん、EEDC Most Improved Student Award(最成長学生賞)は同学科の榎原奈美さんが受賞しました。

国際交流センター

コロナ禍でも国際交流を!



国際交流センターでは、コロナ禍でも学生たちに国際体験の場を提供するべく、さまざまな取り組みを行なっています。

6月には、昨年も開催した本学とアメリカのサム・ヒューストン州立大学(SHSU)とのオンライン交流イベント“Virtual SHSU×TOGAKU”を開催予定です。また、現在は“Togaku Abroad インスタグラムフォトコンテスト”を開催中。グランプリ、優秀賞に加え、インスタグラムの「いいね」数を集めた作品に贈られる「いいね賞」が6/18(金)に決まります。インスタグラムの投票は学内外問わず受け付けています。



昨年度フォトコンテストのグランプリ作品

Virtual English Lounge

オンラインで楽しく英語体験



学内にあるEnglish Loungeは、英語力を高めたい学生が集う場所。コロナ禍の現在はオンライン活動をメインに、Virtual English Lounge(VEL)として稼働しています。

VELではイベントも活発に行われ、昨年11月にはグルメをテーマにした“Food Day Event”を開催。12月には、世界のクリスマス文化を楽しむイベントが開催されました。

春学期のイベントもお楽しみに!
1年生もぜひVELに参加してみてください。



公開講座(リベラルアーツ)

「公開講座(リベラルアーツ)」を 対面&オンラインで開講中

一流講師・文化人を招き、学問領域にとらわれない幅広い教養(リベラルアーツ)を学ぶ公開講座が今年も4月よりスタート。SDGsや感染症、音楽、和ガラスなどをテーマに、全7回の開講を予定しています。対面とオンラインで同時開講予定ですが、新型コロナウイルス感染症の状況次第で変更の可能性あり。最新情報はホームページをご参照ください。



現代経営研究会

「現代経営研究会」を 今期も開講予定

企業トップに経営を学ぶ「現代経営研究会」。第14期目となる今期は、「不確実な時代を読む(仮)」をテーマに9/29(水)から6回にわたって開講予定です。(株)ドワンゴ、(株)不二家、(株)ワークマンをはじめ、多彩な企業のトップがゲスト講師として登壇予定。どなたでもご参加可能です(聴講無料・事前登録制)。最新情報は決定次第ホームページでお知らせいたします。



SDGsフォーラム

SDGsについて学ぶ オンラインフォーラム

本学の「SDGs教育プログラム開発研究プロジェクト」が主催するSDGsフォーラムを、昨年12月と今年1月にオンライン開催しました。第1回はSDGs時代のキャリア形成についてゲスト講師が講演し、第2回は本学の教員3名が講師として登壇。両回とも約100名の受講者がZoomを介して参加しました。

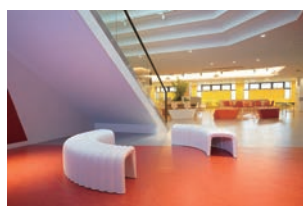
今後の開催予定は、ホームページで随時お知らせいたします。



本郷キャンパス4・5号館のエントランスが 明るく、使いやすくリニューアル!

今年3月にリニューアルし、本学の新たな顔となった4・5号館エントランス。
TOGAKUらしさを大切に、カラフルで居心地のいい空間へと生まれ変わりました。
大型のデジタルサイネージやWiFi環境、充電用の電源などを備え、利便性もアップ。
仲間と談笑したり、オンライン授業を受けたりと、フレキシブルに使えます。

新エントランスの
名称&活用アイデアを募集中!
応募はこちら(在学生限定)



POINT 1

TOGAKUらしさを感じる空間



赤やオレンジ、黄色で彩られたエントランスは、単にカラフルなだけではありません。大学のカラーであるTOGAKUクリムゾンレッドをベースに、大学ロゴ・フェニックスマークの配色を取り入れています。



POINT 2

集中できる自習用ブースも完備

大きなソファからテーブル席まで、用途によって選べる多様な座席を用意。奥の壁側には、1席ずつ仕切られた自習用ブースもあり、各席にPC用電源を完備。WiFiも飛んでいるので、オンライン授業にも対応できます。



POINT 3

便利な設備や機能がいっぱい

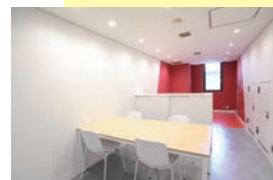
軽食やドリンクなどが買えるコンビニ自販機があり、カフェテリア代わりに利用できます。また、大学の最新ニュースなどが流れる大型のデジタルサイネージが設置されており、学内の情報収集に便利です。

4・5号館のココにも注目!

資格・キャリアステーション& トレーニングルームも新設!

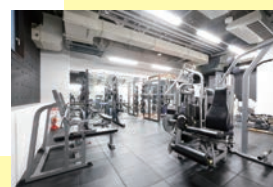
資格・キャリアステーション

エントランスの横に、資格取得を目指す学生向けの相談室「資格・キャリアステーション」を併設。目指す職業や仕事に役立つ資格について、専任スタッフに気軽に相談できます。



トレーニングルーム

地下にはトレーニングルームが誕生。現在は人間科学部の授業に使用されています。エクササイズマシンからパワートレーニング系の機器までそろい、充実した設備環境です。



TOGAKU SPORTS

最新情報は
こちら！



コロナ禍でも「今できること」に精一杯取り組む選手たちの姿をお届けします。
テニス部は“春関”で健闘を見せ、現在は“夏関”や秋のリーグ戦に向けて練習中。
野球部はチーム一丸となり、春季リーグでの2部優勝、1部昇格を目指しています。

男女テニス部

今シーズンの幕開けとなる “春関”で男女とも奮闘

コロナ禍で練習時間が限られる中でも努力を重ね、「2021年度関東学生テニストーナメント大会」に挑んだ本学テニス部。女子テニス部は4年生3名が健闘し、シングルスで中野選手と羽柴選手が2次予選ファイナルに進出。ダブルスでは中野・若月ペアが2次予選ファイナルに進出しました。男子テニス部は、シングルスで4年生の鷲巣選手が2次予選ファイナルに進出。ダブルスでは2年生ペアが2次予選セミファイナルに進出しました。



新入生が2名入り、部員は全6名。4年生と1年生のコミュニケーションも取れていて、チームワークは上々です。春関は無観客でいつもと雰囲気は違いましたが、少ない人数の割には成績を残せたと思います。リーグ戦では6人で戦い抜き、2部昇格を目指します！



女子テニス部主将
中野寧子さん
(人間科学科4年)



新入生が4名入り、部員は全22名。緊急事態宣言が出てからは週1回のオンライントレーニングに加え、各自がコート借りるなどして取り組んでいます。夏関、そして去年は中止になったリーグ戦（関東学生テニスリーグ）が開催されることを信じて、がんばります！



男子テニス部主将
西川和志さん
(人間科学科4年)

硬式野球部

“ワンチーム”をスローガンに 目指すは2部優勝、1部昇格!

2021年度東京新大学野球連盟の春季リーグ戦が5/2からスタートし、本学野球部は2部リーグで戦っています。

今季は2部優勝、1部昇格を目指しており、「優勝に向けて仕上がってきていると思う（宮澤主将）」との頼もしいコメント

も。コロナ禍の今、いつも以上にコミュニケーションを大切にして、ワンチームで試合に挑んでいます。

今年の目標は2部優勝・1部昇格。打撃が強いチームではないので、少ない得点でどう勝つかを工夫しています。コロナ禍だからこそ、部員同士のコミュニケーションを大切に、また、主将として率先して声を出してチームの士気を高めていきたいです！



硬式野球部主将
宮澤凌さん
(現代経営学科4年)



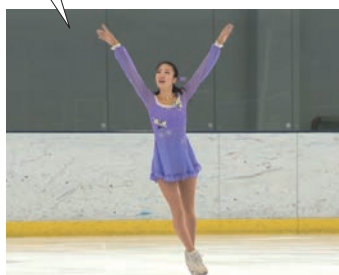
スケート部

演技会や大会などの イベントが徐々に再開!

スケート部の戸室選手は、今年1月に行われた演技会や、埼玉県スケート連盟主催の「サイニチホールディングス杯 第6回 彩の国Springフィギュアスケート競技会（※無観客開催）」に個人としてエントリーするなど、徐々に活動を再開。

さらに、6月末に神奈川県で行われる大会にも参加予定です。

昨年コロナ禍で試合ができなかった分、今年は一つひとつの試合に気持ちを込めて、集中していきたいです



スケート部
戸室梨々奈さん
(人間科学科4年)

学生団体に参加しよう! オンライン説明会も計画中

本学には、委員会、クラブ、サークルなど、30近い学生団体があります。どんな団体があり、どんな活動をしているの? といった情報は、「学生団体あれこれガイド」のWebサイト（在学生向け/下記QRコード）でチェックしてみてください。

なお、学生団体を取りまとめる学生会運営部では、クラブ・サークルのオンライン説明会の開催も検討中とのことです。



学生団体
あれこれガイド



じきょうやまず

#自彊不息でいこう

Vol.1

「自彊不息」とは、「日々の努力を怠らず学びに励むことで成長し、社会を変えていく人間になってほしい」という願いを込めて継承されてきた東洋学園大学の建学の精神。

このコーナーでは、個性豊かな学生たちが「自彊不息」を受け継ぎ、毎日の小さな努力を積み重ねて一歩ずつ成長している様子を紹介します。



私の自彊不息は
ダンスの
身体づくり!

大西咲菜さん
(英語コミュニケーション学科2年)

両親がダンスの先生という環境に生まれ育った大西さんは、日本ダンススポーツ連盟の強化選手にも選ばれている国内トップクラスのダンサー。現在は国内外の大会出場やダンススポーツの普及に向けた活動に励む傍ら、英語の教職課程を履修するなど文武両道で頑張っています。「身体づくり」のために毎日の食べ物に気を使い、練習を重ねるという地道な努力の積み重ねがあってこそ、華やかな舞台で活躍できるのでしょ。

第40回三笠宮杯全日本
ダンススポーツ選手権で
日本一に!

ラテン部門優勝
スタンダード部門準優勝

世界選手権出場権獲得!



3歳でダンススポーツを始め、
兄とペアを組んで国内外の大会に出場しています。

1

最近、YouTube 活動もスタート。
ダンススポーツの魅力をもっと広めたいです!



3



ダンス大会の遠征で海外に行く機会も
多いので、英語はマスト!
大学でも英語をがんばっています。

2

私と兄の目標は
ダンススポーツの世界チャンピオン!



5



そんな私の「自彊不息」は、
ダンスのための身体づくり!

4